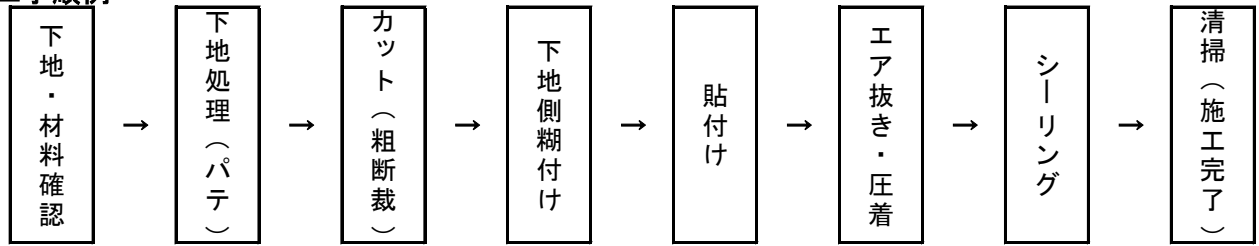


# WALL SCREEN 施工要領書

施工前に本施工要領書をお読みいただき、参考にして下さい。

\* 本書は施工についてなんらかの保証をするものではありません。

## ◆ 施工手順例



## 下地確認

◎	石膏プラスターボード
○	ベニヤ、MDF
△	金属、プラスチック、コンクリート、壁クロス、布クロス、ビニルクロス
×	ガラス、モルタル、ペンキ、砂壁、レンガ

\* クロスを剥がした場合は、下地の状態を確認してから下地処理を行って下さい。

## 施工可能環境

○	屋内
×	屋外、浴室や水濡れがある場所、多湿の場所、高温になる場所や火気の近く

## 材料確認

- 商品到着後、受取りまでの輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。  
受取り商品がご依頼品と間違いがないかご確認いただき、速やかにご使用下さい。  
輸送時の破損・弊社による商品間違い及び不具合品の場合は、代替品又は商品代金返却にてのご対応となります。その他の保証及び施工に関しての保証はいたしかねますのでご承知おき下さい。  
また、施工終了後の責任は負いかねますのでご注意下さい。
- 到着後は平坦な場所に横置きで保管して下さい。縦置きは端部つぶれの原因となります。

## ⚠ 施工時の注意

- 下地基材の不陸が表面に出やすいので、パテ処理を入念に行ってください。  
ボードの継ぎ目や凹部が大きい場合には下塗りが必要ですが、表面が平滑の場合には下塗りを省略できる場合があります。表面状態をよく確認して作業して下さい。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けて下さい。変色や変形、はがれ、マーカが消えなくなるなどの原因になります。
- ジョイントは突き付けで行えますが、シートが厚い為一般的な壁紙等と比較してジョイント部分は目立ちます。市販のジョイナーなどで隠すことも参考にして下さい。
- 通常の壁紙などと比べると厚みがあり重いので、施工は二人以上で行ってください。
- 貼り方向は、施工面積や場所により選択して下さい。
- 接着剤の硬化を遅らせる為に、でんぷん糊を混ぜ合わせる方法があります。  
温度や現場の状況に合わせて混合比率は調整して下さい。  
詳細は使用する接着剤メーカーにお問合せ下さい。
- 5℃～35℃の環境で施工して下さい。施工中、施工後は換気を十分に行ってください。
- シート表面に接着剤が付着した場合は、速やかに完全に拭き取って下さい。
- 用途以外の使用は避けて下さい。

## 下地調整表 (参考資料)

基材	推奨：プラスターボード 施工可能：シナ合板、MDF
前処理	釘・タッカーの锚頭等処理
パテ処理	上塗り用パテ
サンディング	#180～#240のサンドペーパーでサンディング
表面清掃	刷毛、ウエス等にて清掃
接着施工	酢酸ビニル樹脂／でんぷん系の糊（混合比9：1） ローラー塗り（基材側） 塗布量の目安：80g/m <sup>2</sup>
推奨	ブラゾールSS（ヤヨイ化学工業(株)）

\*パテ処理をしても基布（メリヤス）の目が表面に現れる事があります。  
下地調整表は一般的な下地の状況に応じた参考資料です。施工に関しては基材の状態を確認し、できれば試験施工し事前評価される事をお勧め致します。  
各パテ、接着剤等の使用方法はそれぞれのメーカーにお問合せ下さい。

## ◆施工方法例

### 下地基材の表面処理

- ・下地表面状態をよく確認し、凹凸をなくようにします。
- ・板の継ぎ目、タッカーや锚頭、深い凹凸などは下塗りパテを施し、平滑な下地を作ります。
- ・パテ乾燥後、#180～#240のサンドペーパーで研磨し平滑にします。
- ・ホコリやゴミを刷毛やウエス等で清掃します。

↓

### 下地基材への接着剤塗布

- ・接着剤の硬化を遅らせるためにでんぷん糊を混ぜ合わせます。  
\* 混合比は目安です。施工環境に合わせて調整して下さい。  
推奨接着剤 ブラゾールSS（ヤヨイ化学工業(株)）  
推奨でんぷん糊 ルーアマイルド（ヤヨイ化学工業(株)）  
混合比 9：1＝ブラゾールSS：ルーアマイルド
- ・下地側に刷毛やローラーで糊付けします。塗布目安：80g/m<sup>2</sup>

↓

### 貼付け

- ・本体上端部を仮止めし、上部の基準線に合わせて貼り付けます。  
オープンタイムはでんぷん糊を希釈して約10分以内となります。（施工環境によります）
- ・貼り始め側は仮止めするか作業者が押さえる事を推奨します。
- ・貼り終わり側はシートがまくれて折れる事のないように注意して下さい。

↓

### エア抜き、圧着

- ・軽く撫でながら、空気を外側に追い出すように抜いていきます。
- ・シートを軽く引っ張りながら、撫で刷毛・ヘラ・布等でシートの中央から外側へ空気を抜くように仕上げます。

- ⚠** シートは通常の壁紙等と比べると厚く重いので、上端部がめくれると自重により落下するおそれがあります。  
表面材質の特性から、極端に折り曲げると修復できなくなります。まくれ、折れには十分注意して下さい。  
表面を傷つけないように注意して下さい。映写性能・書き消し性能に影響します。

↓

### シーリング

- ・コーナー部分等の剥がれ防止に、接着剤（原液）を塗布して下さい。

↓

### 清掃、施工完了

- ・養生テープ等を取り除き、製品表面に付着した汚れは完全に拭き取って下さい。  
端材や製品本体の廃域処理は、国及び地方自治体の法令に従って下さい。